

計画構想・概要

課題名 「プログラムオフィサー等の資質向上に資する国内セミナー等の開催」
代表者名(所属機関名) 「藤田浩(独立行政法人科学技術振興機構)」

計画の目標・概要

1. 目的

競争的研究資金は、意欲ある研究者の優れた提案に基づいて実施される研究開発に対して資金を提供するものであり、科学技術システムにおいて、極めて重要な役割を担っている。このため、第2期科学技術基本計画においては、競争的研究資金について、期間中に倍増を目指す方針が示されるとともに、その効率的な活用を図り、優れた成果を生み出していくために、制度改革の推進が盛り込まれている。また、総合科学技術会議「競争的資金制度改革について(意見)」では、個々の競争的研究資金制度において、戦略性・機動性の確保と説明責任を果たし得るマネジメント体制を確立することとされており、プログラムオフィサー(PO)、プログラムディレクター(PD)による一元的管理・評価体制の整備が必要とされている。

一方、米国をはじめとする諸外国の競争的研究資金配分機関は、これまでも外部専門家に加えて、研究経歴のある大人数のPOを擁し、プログラムの計画から、最後の評価の段階まで一貫してマネジメントする体制を徹底しており、我が国の競争的資金配分機関が戦略性・機動性を確保するとともに、その説明責任を果たし得るマネジメント体制を確立するにあたっては、NSF等、海外の競争的研究資金配分機関におけるマネジメントの実情を把握し、システムの導入を検討することが非常に重要である。

このため、NSFのPOを招聘するとともに、NIH等、海外の競争的研究資金配分機関に研修のため派遣される我が国のPOの参加も得て、我が国の競争的研究資金配分機関のPO等研究マネジメントに参画するメンバーを対象としたセミナー、ワークショップを開催し、PO制度の定着、ひいては各機関及び各制度における特色を活かした競争的研究資金のマネジメント体制の確立に資することを目的とする。

2. 内容

招待セミナー「NSFのPO制度について」

期間中 1回 平成16年9月(予定)

対象者 各競争的研究資金配分機関のPO、その他競争的研究資金制度関係者等 50人程度

国内ワークショップ「NIHのPO制度について」

期間中 1回 平成16年12月(予定)

対象者 各競争的研究資金配分機関のPO、その他競争的研究資金制度関係者等 30人程度

公開討論会「今後の日本のPD、PO制度について」

期間中 1回 平成17年3月(予定)

対象者 各競争的研究資金配分機関のPO、その他競争的研究資金制度関係者等 30人程度

3. 国内外の協力機関・招聘予定者

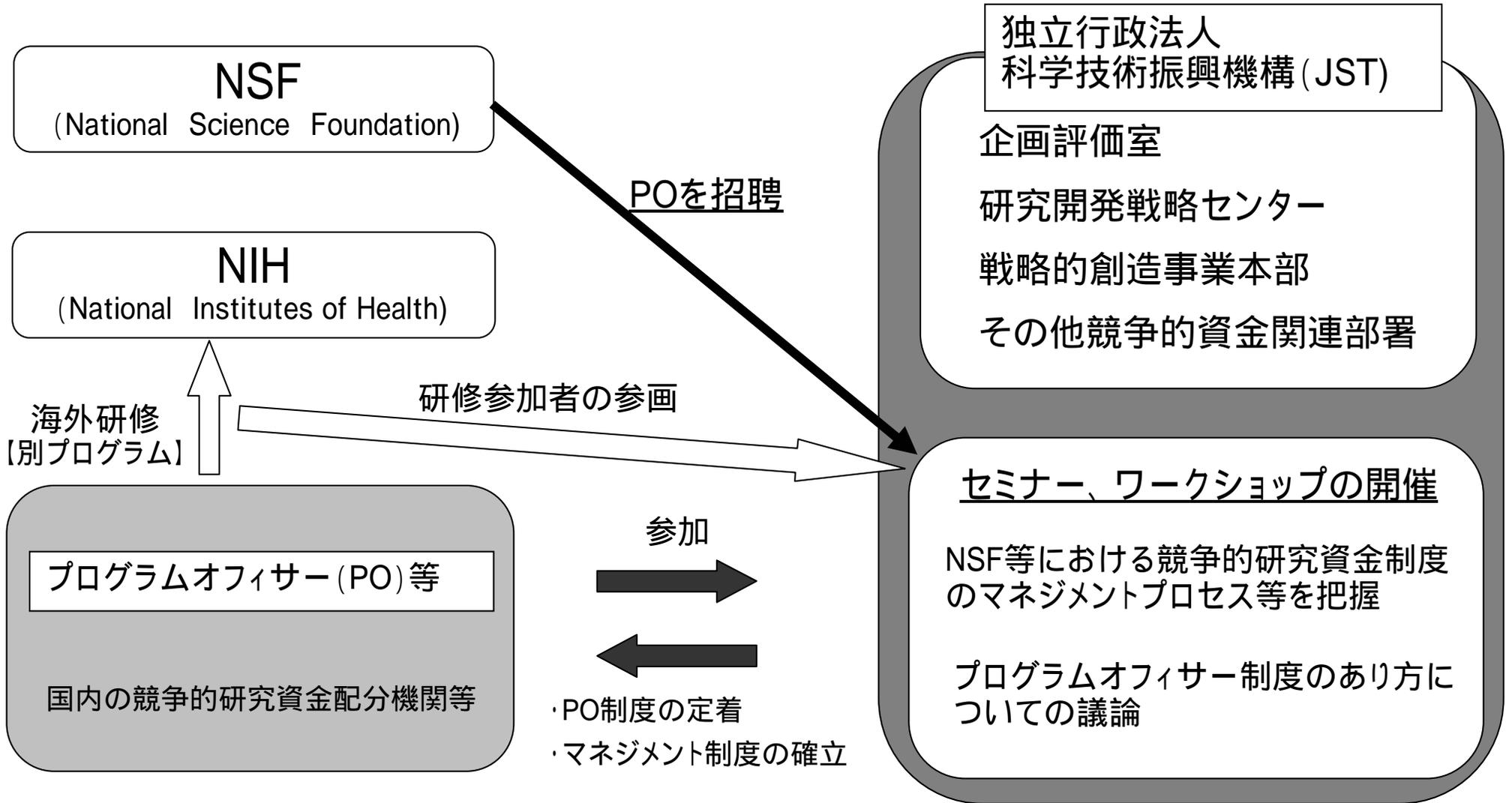
NSFのPOの招聘を想定。

招聘予定者については、提案の段階では協力の要請、招聘の依頼等について関係機関等との調整は行っていない。今後、NSF東京事務所とコンタクトを取り、具体的に適任者の推薦の依頼等を行う予定。

本事業の波及効果

本セミナー等の参加者は、NSF、NIH等における競争的研究資金制度のマネジメントプロセス等の理解を深めるとともに、日本と海外の文化的違い、競争的研究資金制度ごとの趣旨や目的などの違いを踏まえた議論の中から、今後あるべきPO制度等について知見を得ることができる。得られた知見については、総合科学技術会議、関係省庁等に報告し、今後の競争的資金制度改革に反映させるとともに、参加者が所属する競争的研究資金配分機関等に引き継がれ、PO制度の定着、ひいては各機関及び各制度における特色を活かした競争的研究資金のマネジメント体制の確立に寄与することが期待される。

体制図



セミナー等の構想

各競争的研究資金配分機関のPO等を対象に以下のセミナー等を開催

平成16年9月(予定)

招待セミナー「NSFのPO制度について」

- ・ファンディングプロセスにおけるPOの役割
- ・利益相反
- ・レビューアの選定方法
- ・電子システム

12月(予定)

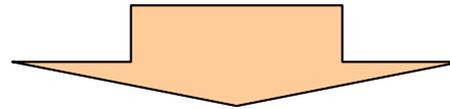
国内ワークショップ「NIHのPO制度について」

- ・NIHにおけるPOの役割(NIH研修者の報告)他
- ・日本のPO制度に求められる特徴

平成17年3月(予定)

公開討論会「今後の日本のPO、PD制度について」

- ・日本の競争的研究資金におけるPO、PD制度の今後を討議



事業の波及効果

- ・各競争的研究資金におけるマネジメント体制の確立
- ・総合科学技術会議、関係省庁等への報告
- 今後の競争的資金制度改革への反映